

# メーデー宣言

本日、私たちは第85回メーデー奈良地方大会を開催した。

東日本大震災からすでに3年が経過したが、今もなお多くの被災者が不自由な生活を強いられている。連合は、被災地の復興・再生を引き続き全力で支えていくとともに、震災を決して風化させないように、被災地はもとより、全国の仲間と連携した取り組みを継続・強化していく。

2014 春季生活闘争では連合の総力を結集し、月例賃金に徹底してこだわり、非正規労働者、女性、若者をはじめ、すべての働く者の処遇改善、くらしの底上げ、格差是正を求め、先頭に立って、その成果を地域に拡げていく。

私たちは「人への投資」を経営に求める。そして、これに逆行する労働者保護ルールの改悪に反対し働く人に十分に報いる社会を実現する。不安定雇用の増加など、雇用の劣化や格差の拡大に歯止めをかけ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に全力を尽くそう。そのために、あらゆる職場で労働組合の社会的意義を積極的にアピールし、一人でも多くの仲間を増やしていく取り組みが必要である。1000万連合を必ず達成させよう！

世界では、労働者の人権侵害や労働組合への厳しい弾圧が依然として行われている。2013年の世界の失業者数は、はじめて2億人を突破した。私たちは、国際労働組合総連合(ITUC)や諸外国の労働組合と連帯し、すべての人のディーセント・ワーク実現のために、格差を是正し、自由と世界の恒久平和、貧困の撲滅をめざしていく。

連合結成25年目をむかえて開催する本メーデー奈良地方大会では、これら重要課題に対してすべての働く仲間が結集し、力を合わせ、心をつなげて、「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」をめざす。そして、志を同じくするすべての仲間との連携と連帯で、「働くことを軸とする安心社会」を実現することを、今ここに宣言する。

2014年4月26日  
第85回メーデー奈良地方大会

メーデースローガン

「力合わせよう！心つなげよう！ みんなの暮らしの  
底上げ実現のために」

以 上

<メーデー特別決議>

労働者保護ルールの改悪に断固反対する特別決議

“強い日本をつくる”のために働く者の権利が弱くなることがあってはならない。

雇用不安や労働環境の悪化を招くなど、働く者を犠牲にする成長戦略を描くことは許されない。われわれは、労働者保護ルールの改悪に断固反対する。

労働者保護ルールは、働く者が人たるに値する生活を営むための最低限のルールである。それに「岩盤規制」とレッテルを貼り、経済成長の足かせだと非難することは言語道断だ。国民の雇用不安・将来不安をあおり、経済の好循環を逆行させるものである。

われわれは、昨年、労働者保護ルール改悪阻止闘争本部を立ち上げ、「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーン第2段の取り組みを全国で展開し、こうした政府の動きに対峙してきた。その結果、「解雇特区」や「残業代ゼロ特区」の導入を一旦は阻止することができた。

しかし、政府の産業競争力会議や規制改革会議などでは、再び、不当な解雇でも職場復帰の道を閉ざす「解雇の金銭解決」や、解雇しやすい正社員を増やす懸念のある「限定正社員」制度の普及、長時間労働を誘発するおそれのある「ホワイトカラー・イグゼンプション」の導入などの検討をしている。また、国会では、“生涯ハケン”で“低賃金”につながりかねない労働者派遣法の改悪審議もはじまろうとしている。

社会の実態に目を向ければ、働く者を使い捨てにする、いわゆる「ブラック企業」が社会問題化しており、それを助長するような労働者保護ルールの改悪を許すわけにはいかない。

加えて、こうした検討が、私たち働く者の代表が参加できないところで一方的に行われていることも大問題である。

政府は、働く者の声を聞け！

われわれは、「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」を合い言葉に一致団結し、今後もさらに全国行動を強化し展開していく。今こそ、すべての働く者の連帯で、「働くことを軸とする安心社会」への扉を切り拓こう。

以上、決議する。

2014年4月26日  
第85回メーデー奈良地方大会